

28.6.21 修正

「長時間労働者、高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」
の正誤表 (26 ページ)

誤	正
3) <u>脂質代謝異常</u> 低 HDL コレステロール血症 (<40 mg/dL) 高 LDL コレステロール血症 (≥140 mg/dL) 又は <u>高コレステロール血症 (≥220 mg/dL)</u> 高トリグリセライド血症 (≥150 mg/dL)	3) <u>脂質異常症</u> 低 HDL コレステロール血症 (<40 mg/dL) 高 LDL コレステロール血症 (≥140 mg/dL) 高トリグリセライド血症 (≥150 mg/dL)
4) 肥満 (BMI ≥25) (特に <u>内臓肥満</u>)	4) 肥満 (BMI ≥25) (特に <u>内臓脂肪型肥満</u>)
7) 糖尿病 HbA1c ≥6.5% (国際標準値、NGSP 値)	7) 糖尿病 HbA1c ≥6.5% (NGSP 値)

(7) 脳・心臓疾患のリスク評価の方法 (例)

※長時間労働者に対する面接指導の際に使用可能

日本高血圧学会・高血圧治療ガイドライン2014年版による手順を示します。

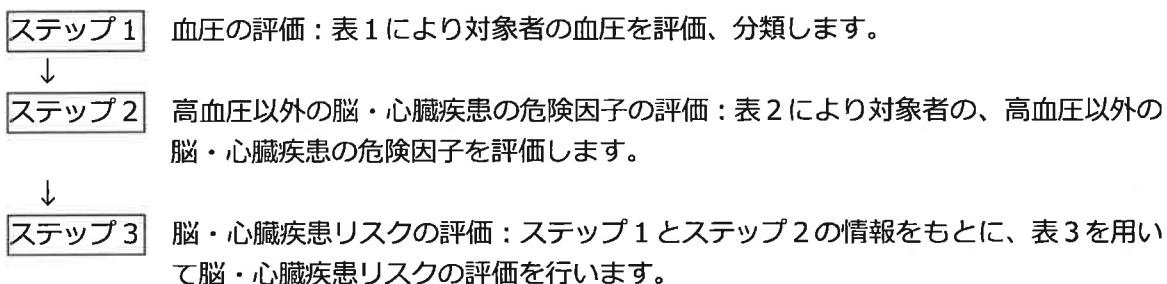


表1 血圧の分類

		収縮期血圧 (mmHg)		拡張期血圧 (mmHg)
正常域血圧	至適血圧	<120	かつ	<80
	正常血圧	120-129	かつ/または	80-84
	正常高値血圧	130-139	かつ/または	85-89
高血圧	I度高血圧	140-159	かつ/または	90-99
	II度高血圧	160-179	かつ/または	100-109
	III度高血圧	≥180	かつ/または	≥110
	(孤立性)収縮期 高血圧	≥140	かつ	<90

高血圧治療ガイドライン2014年版から作成。

表2 高血圧以外の脳・心臓疾患の危険因子

高血圧以外の心血管病の危険因子	メタボリックシンドロームの診断基準 (8学会策定新基準, 2005)
1)年齢 (65歳以上) 2)喫煙 3)脂質異常症 低HDLコレステロール血症 (<40 mg/dL) 高LDLコレステロール血症 (≥140 mg/dL) 高トリグリセライド血症 (≥150 mg/dL) 4)肥満 (BMI≥25) (特に内臓脂肪型肥満) 5)メタボリックシンドローム 6)若年 (50歳未満) 発症の心血管病の家族歴 7)糖尿病 空腹時血糖≥126mg/dL 負荷後血糖2時間値≥200mg/dL 随時血糖≥200mg/dL HbA1c≥6.5% (NGSP値)	1) 腹腔内脂肪蓄積 ウエスト周囲径 男性≥85cm 女性≥90cm (内臓脂肪面積 男女とも≥100cm ² に相当) 上記に加えて下記のうち2項目以上 2) 脂質値 トリグリセライド ≥150mg/dL かつ/または HDLコレステロール <40mg/dL 3) 血圧値 収縮期血圧 ≥130mmHg かつ/または 拡張期血圧 ≥85mmHg 4) 血糖値 空腹時血糖 ≥100mg/dL

高血圧治療ガイドライン2014年版から作成。